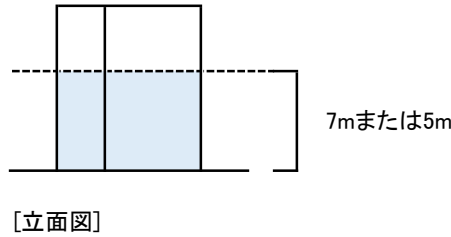
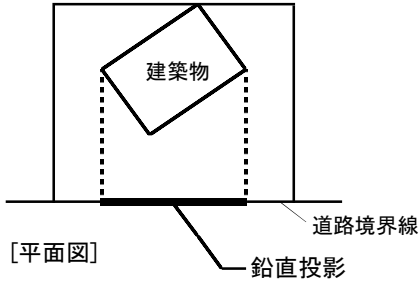


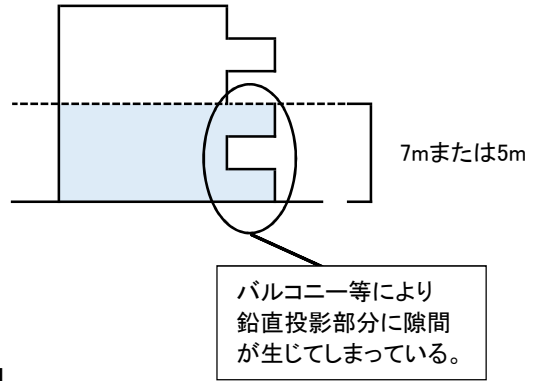
高さの最低限度の考え方		作成(改訂)日
		平成29年11月15日
関係条文	建築基準法第58条、第67条の3	

【特定防災街区整備地区での高さの最低限度(法第67条の3 第6項・第7項)】

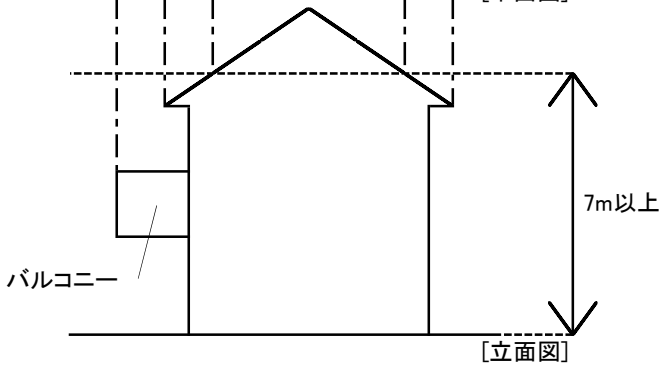
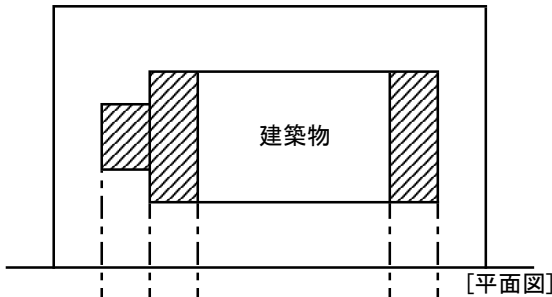


◎補助26号線に面する敷地において、補助26号線側へ鉛直投影した部分のすべての高さが7mまたは5m以上でなくてはならない。

◎右図の形態は不可。



【最低限高度地区での高さの最低限度(法第58条)】



◎高さ7m未満の部分の水平投影面積(平面図の斜線部分)が建築面積の1/2未満、かつ、100㎡未満となればよい。

※水平投影面積と建築面積を比較するのでよく注意して計画すること。

技術的助言等	
参考文献等	